区画室又は区画室群の正規化された長さについては、Jnは、J又はJmの小さい方の値をとる。

1.1.1　考慮する区画室又は区画室群の限界が船尾端又は船首端のいずれとも一致しない場合には、

J≦Jkのときは、

$$p(x1,x2)=p_1=\frac{1}{6}J^2(b_{11}+3b_{12})$$

J＞Jkのときは、

$$p(x1,x2)=p_2=-\frac{1}{3}b_{11}J_k^3+\frac{1}{2}(b_{11}J-b_{12})J_k^2+b_{12}JJ_k-\frac{1}{3}b_{21}(J_n^3-J_k^3)+\frac{1}{2}(b_{21}J-b_{22})(J_n^2-J_k^2)+b_{22}(J_n-J_k)$$

1.1.2　考慮する区画室又は区画室群の船尾側の限界が船尾端と一致する場合又は考慮する区画室又は区画室群の船首側の限界が船首端と一致する場合には、

J≦Jkのときは、

$$p(x1,x2)=\frac{1}{2}(p_1+J)$$

J＞Jkのときは、

$$p(x1,x2)=\frac{1}{2}(p_2+J)$$

1.1.3　考慮する区画室又は区画室群が全区画の長さ（Ls）にわたつて延びている場合には、

$$p(x1,x2)=1$$

1.2　係数r（x1、x2、b）は、次の式で算定する。

$$r(x1,x2,b)=1-(1-C)\cdot\left[1-\frac{G}{p(x1,x2)}\right]$$

この場合において、

$$C=12\cdot J_b\cdot(-45\cdot J_b+4)$$

$$J_b=\frac{b}{15\cdot B}$$

1.2.1　考慮する区画室又は区画室群が全区画の長さ（Ls）にわたつて延びている場合には、

$$G=G_1=\frac{1}{2}b_{11}J_b^2+b_{12}J_b$$

1.2.2　考慮する区画室又は区画室群の限界が船尾端又は船首端のいずれとも一致しない場合には、

$$G=G_2=-\frac{1}{3}b_{11}J_0^3+\frac{1}{2}(b_{11}J-b_{12})J_0^2+b_{12}JJ_0$$

この場合において、

$$J_0=\min(J,J_b)$$

1.2.3　考慮する区画室又は区画室群の船尾側の限界が船尾端と一致する場合又は考慮する区画室又は区画室群の船首側の限界が船首端と一致する場合には、

$$G=\frac{1}{2}\cdot(G_2+G_1\cdot J)$$

**第七―二規則**　係数siの計算

1　係数siは、それぞれの区画室又は区画室群に関連する仮定した浸水のそれぞれの場合について、次に掲げる記号により、この第七―二規則に定めるところに従つて算定する。

θeは、すべての浸水の段階における平衡角とし、度で表す。

θvは、復原てこが負となる場合において、浸水のすべての段階における角度又は風雨密に閉鎖することができない開口が水に没する角度とする。

GZmaxは、角度θvまでの最大の正の復原てことし、メートルで表す。

範囲は、角度θeから測つた正の復原てことし、度で表す。正の範囲は、角度θvまで計算する。

浸水の段階は、浸水の処理の過程におけるすべての個々の段階（最終的な平衡状態に達するまでに平衡化の前の段階がある場合には、これを含む。）とする。

1.1　すべての初期の積載状態diにおけるあらゆる損傷状態に対する係数siは、次の式から得られる。

si＝S intermediate.i　又は　S final.i・S mom.iの小さい方

この場合において、

S intermediate.iは、最終的な平衡段階までのすべての中間的な浸水段階で残存するための確率とし、2の規定に従つて計算する。

S final.iは、浸水の最終的な平衡段階において残存するための確率とし、3の規定に従つて計算する。

S mom.iは、傾斜モーメントに対して残存する確率とし、4に従つて計算する。

2　係数S intermediate.iは、旅客船についてのみ適用し（貨物船については、S intermediate.i＝1とする。）、すべての浸水段階（平衡化の前の段階がある場合には、これを含む。）から得られる係数sの最小値をとるものとし、次のとおり計算する。

$$S_{intermediate}=\left[\frac{GZ_{max}}{0.05}\cdot\frac{Range}{7}\right]^{\frac{1}{4}}$$

この場合において、

GZmaxは、〇・〇五メートルを超える値はとらず、範囲は、七度を超える値はとらないものとする。中間の横傾斜角が十五度を超える場合には、S intermediate＝0とする。

平衡化装置が必要である場合には、平衡に要する時間は、十分を超えてはならない。

3　係数S final.iは、次の式から得られる。

$$S_{final.i}=K\cdot\left[\frac{GZ_{max}}{0.12}\cdot\frac{Range}{16}\right]^{\frac{1}{4}}$$

この場合において、

GZmaxは、〇・一二メートルを超える値はとらないものとする。

範囲は、十六度を超える値はとらないものとする。

θe≦θminの場合には、$K=1$

θe≧θmaxの場合には、$K=0$